

冬期特別学習会報告

2014. 2.5



南筑後外国語（英語）教育研究サークル
 会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

本多敏幸先生（千代田区立九段中等教育学校 主任教諭）
 「生徒をのばすCAN-DO-LIST ~作成から授業、評価まで~」

1月18日（土）13:30~16:30 柳川市三橋公民館にて

平成28年度までに全ての中・高等学校で作成することが望まれている CAN-DO-LIST の作成から授業・評価について、そのスペシャリストである本多先生をお招きして学習会を行いました。今回はお忙しい中、CAN-DO-LIST について作成のポイントなどを学ぼうと、小学校から高校まで多くの先生方が集まりました。（参加者42名）本多先生からは、九段の CAN-DO リスト中心にお話をいただきました。

文責 田中（東山中）

OCAN-DO リストとは

・学習指導要領に基づき、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について、生徒が身につける能力を各学校が明確化し、主に教員が改善に活用すること。

OKUDAN CAN-DO リストとは

<作成の目的> ~必要があると感じたから作成した~

- 1) 生徒に本校の英語指導を通してできるようになることを示す。
- 2) 生徒が自己の目標を設けられるようにする。
- 3) 教員が指導目標、指導内容を共有する。
- 4) 本校の英語指導について保護者や一般の方に示す。



OCAN-DO の評価

・CAN-DO リストは作って終わりではない。それが適切かどうか検証をして、改善していく。評価の方法として、自己評価でできたかどうかを確認していく。

OCAN-DO リスト作成後の成果 ~CAN-DO について話し合うことで~

- ①同僚の考えが分かった。 ②みんなで作ればみんなで実行しよう（守ろう）とする。 ③作ったらそれを指導することとなり、そのための自主研修会を始めるようになった。

OCAN-DO リストのワークショップ

・指導要領にある言語活動の項目に自分自身ができているか○、△、×でチェックしていく。×の付いた項目から一つ選び、それについての CAN-DO リストを作成してみた。さらに、それを達成するための活動は？ 評価は？という手順で進めていった。

KUDAN Can-Do	項目	学年 (段階)	
		第1学年(学年末)	
Reading 読むこと	実生活に関すること	[R1-1]公共の施設などにある簡単な表示や掲示を見て、その意味が理解できる。	[R1-2]Eメールを使いなが
	本校独自の行事や授業(Kudan Method)に関すること	[R2-1]多読用図書(本校設定の赤レベル)を、辞書を使わないで、楽しみながら読むことができる。	[R2-2]英語で、指示文
	熟読スピードと概略理解に関すること	[R3-1]英検4級レベルの文章を、60wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-2]英検上のスピー
	音読に関すること	[R4-1]中学1年生の既習の教科書本文を、英語特有の音を正しく発音しながら音読できる。	[R4-2]中学正しい発音
	実生活に関すること	[L1-1]簡単な指示を聞いて、適切に応じるこ	[L1-2]ゆっ

・復習を中心とした家庭学習

・本文を学習して終わりではなくその後、家庭で(自学)教科書ノートを開き、何度も書いたり、読んだりすることが大切・・・
 リプロダクト

○具体的な指導事例 ~本多先生の授業をVTRで視聴~

- ・教科書本文を取り扱った1年生の授業 (NEW HORIZON)
- ・3年生の30秒コマーシャルプレゼンテーション
- ・6年生による「原子力は廃止すべきだ」についてのディベート

本多敏幸先生の講演会アンケート（感想）より

本多先生の授業は見てみると自然な流れでしたが、CAN-DO リストから逆算されていることがよくわかりました。今日の講演会から自分の授業を振り返り、多くのヒントを得ることができました。

私自身、CAN-DO リストを作成し、使用していますが、どのように活用し、手直ししていけばよいか分からず、ずっと悩んでいるところでした。今日、本多先生のお話を聞かせていただき、自分のCAN-DO リストを客観的に振り返る方が少し見いだせたように思います。まず、大切なことは、全部の英語教員でリストを共有していくこと。個々で活動していることが多く、なかなかまとまることができていないことが課題なのだと思います。生徒の最終的な姿を共有することで、教員全体のつながり持て、きちんと指導することができるのだと痛感しました。本当に為になるお話をありがとうございました。

CAN-DO リストという言葉も初めて聞く言葉だったので、とても興味深く聞かせていただきました。まだ、自分でリストを立てるには至りませんが、本多先生の授業や資料には大変参考になるものがあり、早速やってみようと思えるものでした。このサークルは、本当に熱心な先生ばかりで、いつもとても勉強になります。機会を見つけて、これからも参加させていただきます。他地区の私達にも連絡をいただけることに感謝しています。

CAN-DO リストについて理解が少し深まりました。評価基準とは違うこと、指導の仕方についても考えながら作成すべきこと・・・難しいなあと思いつつ話を聞いていました。授業のDVDを見せていただき、すごいなと感心するとともに、CAN-DO リストを作成することは、自分の授業づくりを見直すことなのだと実感しました。

先生の著書を使った時から興味がありました。「来て良かった！」と思っています。こんな機会を設けてくださり、ありがとうございます。

ホームページに辿り着いた時、「すごい」と思いました。このサークルの活動すごいですねえ。次の機会を楽しみにしています。

初めて参加しました。CAN-DO リスト、わからなかったのですが、これを学習到達目標にして、日々の授業に取り組みたいと再認識することができました。

CAN-DO リストのパイオニアである本多先生のお話を聴講することができ、とてもためになりました。まだ、わからないことも多いですが、もっと学んでいきたいと思っています。

「めあて」と「まとめ」のある授業が福岡では特に求められていて、本校でも実践しているところですか。“What have you learned today? Talk with your partner!”と言って終わっていますが、なかなか話が進むペアとそうでないペアがあり、ペアリングも難しいです。

CAN-DO リストを作成することが授業改善につながることをしっかり示していただきました。作成までの経緯がとても大切であり、その後の指導に生かしていく必要性を感じました。

CAN-DO リストに関しても勉強になりましたが、最後に見せていただいた授業の様子と家庭学習の指示についても、大変参考になりました。テンポよく進む授業も、先生が goal をしっかり据えられていらっしゃるからこそ。自分の授業と指導方法を見つめ直すよききっかけとなりました。まだまだできること（しなければならぬこと）がたくさんあることを感じました。



CEFR 関連の書物は読んだことがありましたが、その中に含まれている CAN-DO リストの実践をされてある本多先生のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。リストを作るだけでなく、単元の構成や活動など丁寧に計画し、授業を行っていくことが私達英語教師にとって、必要なことであり、子どもに力をつけさせることにつながっていくと思えました。リストを作るだけでなく、授業の在り方や流れと関連させて、再考していきたいと思えました。

香住ヶ丘高校のハイレベルな CAN-DO リストしか見たことなかったので、わかりやすかったのですが、いざ作るとなると、また躓いてしまうような気がします。他の先生方と協力してやっていきたい。